

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2 年 3 月 25 日

事業所名 コロニー児童デイサービスみやぎ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	4			出来るだけ活動に必要なスペースを確保するよう工夫します。
	2 職員の配置数は適切である	2	6		利用状況・人数に応じた職員配置を組んでいます。	職員の専門性をより高めていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	1			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	2			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1		昨年よりHP上での自己評価の公表も実施しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	5			
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1			参加した職員から話す機会を設けている(ミーティングなど)
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	3		常に発信しているが個々の受け取り違いで対応に違いが見られる	チームの枠割を明確化して、個々の職員の自覚を促す
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	4			職員のスキルによって違いがある為、事前打ち合わせを入念に行う
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	1			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			今後も日々の努力と工夫を怠らない様務める	支援の内容や役割分担について個々で意識を高め責任を持ち業務を行う(チームワークと共通認識は必須事項とする)
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2		日々の振り返りを行っている	時間的余裕のない日があるため、個別記録や申し送りノートなどを利用して速やかに共有する

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8				
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	1			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3	5			職員全員にガイドラインの内容を再度周知し、普段の活動に活かす
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	3		引き続き連携体制を継続する	対象児童は1名 家庭と学校のみ対応(吸入・吸引)連携有
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	4			新規職員やパート職員に対しても、共有した情報を速やかに連携する
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	1			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6	1		活動で児童館へ行く機会を設けているが、今後は交流の機会も積極的に検討したい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	4	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	4	1		
保護者への	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3	1		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	2		苦情受付箱をわかりやす場所に設置している	

説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	3			
	35	個人情報に十分注意している	8	0			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	3		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	2			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	2		年に1回実施(虐待防止・権利擁護研修) 選出して実施済み(2名)	
	41	このような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	3			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	3			該当者無
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1			